

平成29年度 障がい者就労支援圏域ネットワーク事業 報告書

圏域名	東濃圏域	委託先法人名	社会福祉法人 陶技学園
-----	------	--------	-------------

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労支援推進のため、関係機関等の情報・課題の共有を行う	東濃圏域障がい者総合支援推進会議 就労・雇用支援部会構成団体・機関	＜東濃圏域障がい者就業支援ネットワーク全体会議＞ ・障がい者就労の現状と課題（ハローワーク・特別支援学校） ・就労支援の現状と課題 （相談支援事業所 一般社団法人ふれあい処 和 まちなか相談所） ・労働雇用課より事業説明	6/28(水) 13:30～ 15:30	東濃西部総合庁舎 5F大会議室	■関係機関 72名 (53事業所)	まちなか相談所より、就労支援の現状と課題について、対象者の能力を活かすまでの支援に関する発表をいただき、支援の特徴や経緯・課題など再認識することで就労の共有と連携の重要性について周知した。
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労継続支援B型事業所における工賃の向上、事業の充実について、情報や課題を共有する	就労継続支援B型事業所	＜東濃圏域障がい者就業支援ミニネットワーク会議＞ ・各事業所の現状について ・来年度からのミニネットワーク会議の運営について	10/2(月) 13:30～ 15:30	東濃西部総合庁舎 5F大会議室	■関係機関 22名 (16事業所)	東濃圏域の各就労継続支援B型事業所の支援状況や課題について情報共有し、連携や来年度以降のミニネットワーク会議の運営体制を確認した。
就労・雇用支援部会 東濃圏域 セミナー事業	障がい者雇用の促進や職場定着を図るため現状や課題を知ると共に解決策について学ぶ。	地元企業・ 関係機関	＜雇用促進セミナー&事業主支援ワークショップ＞ ◆第一部 雇用促進セミナー ・障害者雇用に係る制度説明（ハローワーク） ・障がい者就業・生活支援センターの支援体制について ・精神障害者の支援事例（岐阜障害者職業センター） ◆第二部 事業主支援ワークショップ ・意見交換	10/24(火) 13:00～ 15:30	瑞浪市産業 振興センター 3F大会議室	■地元企業 関係機関 34名 (24事業所)	第一部では、障害者雇用に係る制度説明や、精神障害者の支援についての情報を各企業の方に周知した。第二部では、各企業同士での顔合わせや、障害者雇用について意見交換をし理解を深めることが出来た。
就労・雇用支援部会 地区別開催事業	一般就労に向けた現状への理解を深めると共に、障がい者の意識の向上と働くための心構えに関して学ぶ	恵那特別支援 学校生徒・ 地元企業・ 関係機関	＜恵那・中津川地区事業＞ ・恵那特別支援学校概要、学校見学 ・作業学習体験	11/22(水) 10:00～ 12:20	恵那特別支援学校	■地元企業 関係機関 31名 (20事業所)	恵那・中津川地区の企業に対し、作業体験を通じて生徒と直接関わっていただき、学校での取り組みを知っていただいた。 初参加の企業が多く、働く力や様子など理解を深め、今後の実習受け入れや雇用を検討して頂く機会となった。
	一般就労に向けた取り組み、指導方法についての助言を受け、支援に活かす	東濃特別支援 学校生徒・ 地元企業・ 関係機関	＜多治見・土岐・瑞浪地区事業＞ ・東濃特別支援学校概要、学校見学 ・作業学習体験	11/29(水) 9:25～ 12:10	東濃特別支援学校	■地元企業 関係機関 21名 (15事業所)	多治見・土岐・瑞浪地区の企業に対し、学校での取り組みを知っていただき、作業体験を通じて生徒と直接関わっていただいた。 企業の方からは、障害者の方のイメージとは異なり、働く力や様子を拝見できたと好評価であり、今後の実習受け入れや雇用を検討して頂く良い機会となった。
就労・雇用支援部会 啓発事業	就労・雇用支援を効果的に推進するため、情報整理・集計化を図り、各関係機関や企業、地域住民へ情報提供を行う	地元企業・ 地域住民・ 関係機関	＜ガイドブック更新＞ 就労支援ネットワークのガイドブックの内容の更新・印刷を行う ＜ホームページ更新＞ 東濃障がい者就業支援ネットワークのホームページの更新を行うと共に情報の収集・発信を行う	随時	東濃障がい者 就業・生活 支援センター にて更新	—	地域の障がい者やその家族、関係機関等に対し、サテライトの支援内容や支援機関等の適切な情報の周知につながった。 今後も情報をまとめ、地域の方々への情報提供を図っていく。